



# 上山小学校「風のたより」

令和5年4月13日(木) 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、

自らの未来を切り拓く児童を育成する



## いっしょに頑張ろうね！

入学式後の1年生の教室に入ってみました。子供たちは、少し緊張気味ではありますが、「校長先生はいくつですか？」と尋ねてきました。どうして子供は、大人の年齢を知りたがるのでしょうか？一人の子供が、「25歳ですか？」と言います。ひっくり返しても足りない年齢でしたが、その場は25歳で通しました。怪訝そうな顔をしていましたので、そのうち白状したいと思っています。^^;



これで、全校児童446人勢ぞろいです。違う環境で新しく事を始めるのにはたくさんのエネルギーが必要です。新入生も、進級した児童も、保護者も、転勤してこられた先生方も、担当がかわった職員も、今が一番大変な時です。自覚はなくてもダメージはあるものです。こんな時は、一生懸命になりすぎないこと、スピードを緩めること、みんなで知恵を出し合うことが肝要であると思います。時には、青く澄んだ空を眺めて深呼吸するのもいいですね。(\*^^\*)



空がこんなに青いとは

岩谷 時子

知らなかったよ

空がこんなに青いとは

手をつないで歩いていって

みんなであおいだ空

ほんとに青い空

空は教えてくれた

大きい心をもつように

友だちの手をはなさぬように

## 登校するということ

1年生の登校が始まりました。上級生の後ろにちょこんと見え隠れする黄色い帽子姿がとても微笑ましいです。初めての登校はどんな気持ちだったのでしょうかね。いつもと違う時間、通学路、景色。慣れるまでには、もう少し時間がかかりそうですね。ある女の子は、校門のところで泣いていました。帯同してきたお母さんは、「大丈夫？」ではなく、「行ってらっしゃい！」と言って、子供の視線から離れ、玄関付近まで到着するのをこっそり見られていました。その子の特性に応じた行動だったのでしょう。登校一つにしても親として、学校職員として考えながら対応していかなければならないと改めて考えさせられました。



## 午前中5時間授業について

令和5年度から、午前中に5時間授業を行う日課に変更しました。賛否両論あるのですが、チャレンジしています。変更した理由としては、年間の授業時間数は変わらないものの、学ぶ量が増えたことに対応するためには、欠課時間数を減らす必要があるということです。午後外勤の多い先生方の代わりに先生の授業となるとプリント類が多くなるために学習進度が遅れがちになります。その解消を図ることができます。また、午後の時間にゆとりが生まれると、先生方の教材研究が深まり、質の高い授業を行うことができます。加えて、必要に応じて子供との時間の確保もできます。克服しなければならないことは、3回ある授業間（休み時間）が5分間であるということです。まずは教師が範を示すことでメリハリのある学校生活ができるよう指導していきます。「時間を守る」という社会常識の定着にもつながればと思っております。



☆上山小のHP「スミレだより」毎日更新しています。QRコードもご利用ください。